

# 1 月別気象概況（2009年1月～2009年12月）

福岡管区気象台

## （1）1月の気象概況

### 1月上旬：気圧の谷や低気圧及び寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多い 低温 少雨

はじめと後半は気圧の谷や低気圧及び冬型の気圧配置による寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多かったが、その他の日は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。1日は冬型の気圧配置による寒気の影響で県内各地で0.0～14.5mmの降水量を観測した。7日は四国沖の低気圧の影響で県内各地で0.0～12.5mmの降水量を観測した。10日は冬型の気圧配置による寒気の影響で県内各地で0.0～8.0mmの降水量を観測した。

気温は中頃に平年を上回った日もあったが、旬を通して県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回った。県内各地の旬平均気温は3.6～7.1℃（平年差-1.6～-0.1℃）で平年並か低く、旬降水量は0.0～28.0mm（平年比0～98%）で平年並か少なく、旬日照時間は平年比70～119%で概ね平年並となった。

### 1月中旬：気圧の谷や低気圧及び寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多い 低温

前半は冬型の気圧配置による寒気の影響で、後半は低気圧や前線及び気圧の谷の影響で曇りや雨または雪の日が多かった。11～14日は冬型の気圧配置による寒気の影響で県内各地で0.5～15.5mmの降水量を観測した。18日は低気圧や前線の影響で県内各地で2.5～23.0mmの降水量を観測した。

気温は前半は平年を下回り、後半は平年を上回って経過し、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で概ね平年を下回った。県内各地の旬平均気温は3.0～5.9℃（平年差-0.9～-0.2℃）で平年並か低く、旬降水量は7.0～24.0mm（平年比25～131%）で少ない所が多く、旬日照時間は平年比80～114%で概ね平年並となった。

### 1月下旬：気圧の谷や低気圧及び寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多い 多雨 寡照

福岡では24日に6センチ、25日に5センチの積雪を観測

気圧の谷や低気圧及び冬型の気圧配置による寒気の影響で曇りや雨の日または雪の日が多かった。21日は低気圧の影響で県内各地で0.5～2.5mmの降水量を観測した。23～26日は気圧の谷や寒気の影響で県内各地で1.0～34.0mmの降水量を観測した。29～31日は気圧の谷や低気圧の影響で県内各地で13.5～44.5mmの降水量を観測した。また、福岡では24日に6cm、25日に5cmの積雪を観測し、28日にウメの開花（平年より7日早く、昨年より5日遅い）を観測した。

気温は中頃は平年を大きく下回る日もあったが、はじめと終わりは平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。県内各地の旬平均気温は4.5～6.3℃（平年差+0.3～+1.7℃）で平年並か高く、旬降水量は17.0～60.5mm（平年比120～318%）で概ね多く、旬日照時間は平年比39～66%でかなり少なくなった。

## (2) 2月の気象概況

### 2月上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、曇りや雨の日があった 高温 多照

高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、気圧の谷や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日があった。1日は上空の気圧の谷の影響で県内各地で0.0～0.5mmの降水量を観測した。3日は低気圧や前線の影響で県内各地で7.0～22.5mmの降水量を観測した。9日は気圧の谷の影響で県内各地で1.0～13.0mmの降水量を観測した。

気温は県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で概ね平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。県内各地の旬平均気温は6.4～8.7℃（平年差+2.0～+3.2℃）で高く、旬降水量は9.0～29.0mm（平年比76～164%）で平年並か多く、旬日照時間は平年比106～126%で多くなった。

### 2月中旬：気圧の谷や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日が多い 高温 多雨 13日に春一番が吹く 17日に福岡ではみぞれとあられを観測

気圧の谷や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日が多かった。13日は日本海を通過する低気圧や寒冷前線の影響で県内各地で2.5～77.0mmの降水量を観測した。17日は冬型の気圧配置となり寒気の影響を受けて県内各地で0.0～4.5mmの降水量を観測した。19日は東シナ海の低気圧や温暖前線の影響で県内各地で23.5～43.0mmの降水量を観測した。また、13日に南から暖かい風が吹き込み「春一番」が吹いた。17日に福岡ではみぞれとあられを観測した。

気温は前半は平年を上回り、後半は平年を下回る日が多かったが、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で概ね平年を上回った。県内各地の旬平均気温は7.8～10.1℃（平年差+2.3～+3.2℃）で高く、旬降水量は39.0～123.0mm（平年比116～206%）で概ね多く、旬日照時間は平年比92～122%で平年並か多くなった。

### 2月下旬：気圧の谷や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日が多い 高温 寡照

行橋、前原、太宰府では2月の月平均気温の高い方、耳納山では月降水量の多い方からの記録を更新

気圧の谷や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日が多かった。22日は東シナ海の低気圧や前線の影響を受けて県内各地で5.5～30.0mmの降水量を観測した。25日は低気圧や前線の影響を受けて県内各地で5.5～13.0mmの降水量を観測した。27日は四国沖の低気圧や前線の影響を受けて県内各地で0.0～6.0mmの降水量を観測した。また、行橋、前原、太宰府では2月の月平均気温の高い方からの記録を更新した。耳納山では2月の月降水量の多い方からの記録を更新した。

気温は期間のはじめは平年を下回る日もありましたが、その後は平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を上回った所が多くなり、日照時間は県内各地で平年を下回った。県内各地の旬平均気温は8.2～10.8℃（平年差+3.0～+4.1℃）で高く、旬降水量は17.0～57.5mm（平年比69～190%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比41～65%で少なくなった。

### (3) 3月の気象概況

#### 3月上旬：気圧の谷や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日が多い 高温 寡照

気圧の谷や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日が多かった。3日は対馬海峡を通過した低気圧の影響を受けて県内各地で0.5～11.0mmの降水量を観測した。6日は気圧の谷の影響を受けて県内各地で13.0～27.0mmの降水量を観測した。

気温は期間の終わりに平年を下回る場所もあったが、平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で概ね平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。県内各地の旬平均気温は7.5～10.1℃（平年差+0.7～+1.8℃）で高く、旬降水量は19.5～53.0mm（平年比53～104%）で平年並となり、旬日照時間は平年比68～88%で少なくなった。

#### 3月中旬：気圧の谷や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日が多い 気温はかなり高い 福岡では13日にソメイヨシノ開花 久留米と大牟田では19日に日最低気温の高い方からの記録を更新

はじめと終わりは気圧の谷や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、中頃は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。13日は対馬海峡を通過した低気圧や前線の影響で県内各地で9.0～69.0mmの降水量を観測した。20日は気圧の谷の影響で県内各地で0.0～7.5mmの降水量を観測した。また、福岡では13日にソメイヨシノの開花（平年より13日早く、昨年より11日早い）し、1953年の統計開始以来最も早い開花日となった。久留米と大牟田では19日に日最低気温の高い方からの記録を更新した。

気温は中頃に平年を下回る日もあったが、平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で概ね平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。県内各地の旬平均気温は10.9～13.3℃（平年差+2.4～+4.0℃）でかなり高く、旬降水量は11.0～69.0mm（平年比36～135%）で少ない所が多くなり、旬日照時間は平年比106～140%で平年並か多くなった。

#### 3月下旬：雨の日もあったが高気圧に覆われて晴れの日が多い 多照 福岡では23日にソメイヨシノ満開 福岡、宗像、八幡、頂吉、飯塚、前原では月降水量の少ない方から、黒木では21日に日最高気温の高い方からの記録を更新

はじめは低気圧や前線の影響で雨の日もあったが高気圧に覆われて晴れの日が多かった。22日は日本海の低気圧からのびる寒冷前線の影響で県内各地で7.0～50.0mmの降水量を観測した。また、福岡では23日にソメイヨシノの満開（平年より11日早く、昨年より10日早い）を観測し、これまでで一番早い満開となった。福岡、宗像、八幡、頂吉、飯塚、前原では月降水量の少ない方から、黒木では21日に日最高気温の高い方からの記録を更新した。

気温ははじめは平年を上回る日が多く中頃からは平年を下回る日が多くなり、旬では県内各地で平年を上回った所が多くなった。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。県内各地の旬平均気温は9.3～11.7℃（平年差-0.3～+0.6℃）で平年並、旬降水量は8.0～55.5mm（平年比17～97%）で概ね少なくなり、旬日照時間は平年比146～185%で多くなった。

#### (4) 4月の気象概況

##### 4月上旬：曇りや雨の日もあったが高気圧に覆われて晴れの日が多い 少雨 多照

前半は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日もあったが高気圧に覆われて晴れの日が多かった。4日は九州付近を通過した前線の影響で県内各地で6.5～26.0mmの降水量を観測した。

気温は前半は平年を下回る日が多かったが後半は平年を上回る日が多くなり、旬では県内各地で平年を上回った所が多くなった。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。県内各地の旬平均気温は11.4～13.8℃(平年差-0.8～+0.8℃)で平年並の所が多く、旬降水量は8.5～26.0mm(平年比19～45%)で少なくなり、旬日照時間は平年比139～157%でかなり多くなった。

##### 4月中旬：天気は周期的に変化、低気圧や前線の影響で雨の降る日があった 高温 並雨

天気は周期的に変わり、中頃と終わりは低気圧や前線の影響で雨の降る日があった。14日は九州付近を通過した低気圧や前線の影響で県内各地で18.5～50.0mmの降水量を観測した。20日は九州西海上の低気圧や前線の影響で県内各地で3.5～23.0mmの降水量を観測した。

気温は期間を通して平年を上回る日が多くなり、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回った所が多くなり、日照時間は県内各地で平年を上回った。県内各地の旬平均気温は15.7～18.2℃(平年差+2.6～+3.9℃)でかなり高くなり、旬降水量は26.5～79.0mm(平年比61～130%)で平年並となり、旬日照時間は平年比101～117%で平年並の所が多くなった。

##### 4月下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多いが中頃は曇りや雨の日が多い 低温

はじめと終わりは高気圧に覆われて晴れの日が多く中頃は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。24～25日にかけて九州付近を通過した低気圧や前線の影響で県内各地で40.0～65.0mmの降水量を観測した。

気温は中頃以降は平年を下回った日が多くなり、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回った所が多くなり、日照時間は県内各地で平年を上回った。県内各地の旬平均気温は13.4～15.5℃(平年差-2.2～-0.7℃)でかなり低くなり、旬降水量は44.5～69.0mm(平年比90～145%)で平年並か多くなり、旬日照時間は平年比103～130%で概ね多くなった。

## (5) 5月の気象概況

### 5月上旬：前半は曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多い 少雨 多照

前半は気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。4日は気圧の谷の影響で県内各地で2.0～23.5mmの降水量を観測した。

気温は中頃に平年を下回った所もあったが、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。県内各地の旬平均気温は17.1～19.1℃(平年差+0.1～+1.3℃)で高い所が多くなり、旬降水量は2.0～28.0mm(平年比5～30%)で少なくなり、旬日照時間は平年比131～162%で多くなった。

### 5月中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多いが中頃は曇りや雨の日が多い 高温 少雨 多照

はじめと終わりは高気圧に覆われて晴れの日が多く、中頃は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。17日は日本海の低気圧からのびる前線の影響で県内各地で2.5～38.5mmの降水量を観測した。

気温は終わりに平年を下回った日もあったが、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。県内各地の旬平均気温は18.5～20.8℃(平年差+1.1～+2.4℃)で高くなり、旬降水量は2.5～45.5mm(平年比5～48%)で概ね少なくなり、旬日照時間は平年比113～132%で多くなった。

### 5月下旬：気圧の谷や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日が多かった 頂吉、行橋、前原では月降水量の少ない方からの記録を更新

気圧の谷や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日が多かった。21日は黄海付近の低気圧からのびる前線の影響で県内各地で18.5～84.0mmの降水量を観測した。27～29日は九州南部付近から四国沖を通過する低気圧の影響で県内各地で0.0～14.5mmの降水量を観測した。また、頂吉、行橋、前原では月降水量の少ない方からの記録を更新した。

気温は後半に平年を下回った日が多くなり、旬では県内各地で平年を下回った所が多くなった。降水量は県内各地で平年を上回った所が多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。県内各地の旬平均気温は18.4～20.0℃(平年差-0.9～+0.7℃)で概ね平年並となり、旬降水量は19.5～92.0mm(平年比57～156%)で平年並か多くなり、旬日照時間は平年比65～90%で少なくなった。

## (6) 6月の気象概況

**6月上旬：はじめは晴れの日が多く、その後は曇りや雨の日が多い**

九州北部地方（山口県を含む）は3日頃梅雨入り

大牟田では3日に19.0℃の日最高気温を観測、6月の「日最高気温の低い方から」の記録を更新

はじめは高気圧に覆われて晴れの日が多く、その後は気圧の谷や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日が多かった。3日は九州西海上の低気圧や前線の影響で県内各地で17.0～41.5mmの降水量を観測した。10日は梅雨前線の影響で県内各地で7.5～74.5mmの降水量を観測した。また、九州北部地方（山口県を含む）は6月3日頃に梅雨入りした（平年は6月5日頃、去年は5月28日頃）。大牟田では3日に19.0℃の日最高気温を観測し6月の「日最高気温の低い方から」の記録を更新した。

気温ははじめに平年を上回った所もあったが、旬では県内各地で平年を下回った所が多くなった。降水量は県内各地で平年を下回った所が多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。県内各地の旬平均気温は19.9～21.5℃（平年差-0.8～+0.1℃）で平年並か低くなり、旬降水量は37.5～185.5mm（平年比56～190%）で概ね平年並となり、旬日照時間は平年比45～97%で概ね少なくなった。

**6月中旬：はじめは曇りの日が多く、中頃からは晴れの日が多い 高温 少雨 多照**

はじめは気圧の谷の影響で曇りの日が多く、中頃からは高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

気温は中頃に平年を下回った所もあったが、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。県内各地の旬平均気温は22.5～24.4℃（平年差+0.6～+1.8℃）で概ね高くなり、旬降水量は0.0～28.0mm（平年比0～23%）で少なくなり、旬日照時間は平年比172～229%でかなり多くなった。

**6月下旬：中頃は晴れの日もあったが梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多い**

宗像、行橋、太宰府、久留米、黒木では6月の「月間日照時間の多い方から」の記録を更新

中頃は高気圧に覆われて晴れの日もあったが梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。22～23日は梅雨前線の影響で県内各地で26.5～101.0mmの降水量となった。27～30日も梅雨前線の影響で県内各地で50.5～347.0mmの降水量となった。また、宗像、行橋、太宰府、久留米、黒木では6月の「月間日照時間の多い方から」の記録を更新した。

気温は前半に平年を下回った所もあったが、旬では県内各地で平年を上回った。降水量、日照時間ともに県内各地で平年を上回った所が多くなった。県内各地の旬平均気温は23.8～25.7℃（平年差+0.7～+2.2℃）で概ね高くなり、旬降水量は88.0～456.0mm（平年比53～209%）で平年並か多くなり、旬日照時間は平年比58～139%で概ね多くなった。

## (7) 7月の気象概況

**7月上旬：梅雨前線や気圧の谷及び低気圧の影響で曇りや雨の日が多い**

**1日に英彦山と耳納山で、7月の「日最大1時間降水量」の極値を更新**

梅雨前線や気圧の谷及び低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。1日は九州北部付近の活発化した梅雨前線の影響で県内各地で27.0～142.0mmの降水量となった。3日は日本海を東進する低気圧の影響で県内各地で0.0～45.0mmの降水量となった。8日は朝鮮半島付近の梅雨前線の影響で県内各地で2.0～41.5mmの降水量となった。10日は九州北部付近の梅雨前線の影響で県内各地で0.0～34.5mmの降水量となった。また、1日に英彦山で58.5mm、耳納山で57.5mmの1時間降水量を観測し、7月の「日最大1時間降水量」の極値を更新した。

気温は前半に平年を下回った所が多かったが、旬では県内各地で平年を上回った所が多かった。降水量は県内各地で平年を下回った所が多くなり、日照時間は県内各地で平年を下回った。県内各地の旬平均気温は24.2～25.5℃(平年差-0.3～+0.9℃)で平年並となり、旬降水量は68.5～192.5mm(平年比39～140%)で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比56～68%で概ね少なくなった。

**7月中旬：梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多い**

**19日に福岡、博多、宗像、飯塚、黒木で、7月の「日最低気温の高い方から」の記録を更新**

中頃は高気圧に覆われて晴れの日もあったが、梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。11日は九州北部付近の梅雨前線の影響で県内各地で1.5～63.5mmの降水量となった。15日は朝鮮半島南岸の梅雨前線の影響で県内各地で0.0～51.0mmの降水量となった。20日は対馬海峡付近の梅雨前線の影響で県内各地で2.0～67.0mmの降水量となった。また、19日に福岡で29.2℃、博多で29.0℃、宗像で27.8℃、飯塚で27.5℃、黒木で26.4℃の日最低気温を観測し、7月の「日最低気温の高い方から」の記録を更新した。

気温は中頃に平年を下回った日もあったが、その他の日は平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で概ね平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。県内各地の旬平均気温は26.9～29.2℃(平年差+1.1～+2.8℃)で高くなり、旬降水量は15.0～126.0mm(平年比15～107%)で平年並の所が多く、旬日照時間も平年比69～91%で平年並の所が多くなった。

7月下旬：梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった 低温 多雨 寡照

宗像、頂吉、行橋、篠栗、飯塚、前原、博多、九千部山、耳納山では「日最大1時間降水量」の記録を更新

宗像、頂吉、篠栗、飯塚、博多、九千部山、耳納山では「日降水量」の極値を更新

博多では「月降水量の多い方から」の記録を更新

福岡では「月間日照時間の少ない方から」の記録を更新

梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。21日は対馬海峡付近の梅雨前線の影響で県内各地で6.5～66.0mmの降水量となった。24日から26日にかけては九州北部付近の梅雨前線の活動が非常に活発となり県内各地で271.5～618.0mmの降水量となった。29日は九州北部付近の梅雨前線の影響で県内各地で1.5～30.5mmの降水量となった。24日に宗像59.0mm、頂吉79.5mm、行橋65.0mm、篠栗100.5mm、飯塚101.0mm、前原92.0mm、博多116.0mm、25日に耳納山67.0mm、26日に九千部山80.0mmの1時間降水量を観測し、「日最大1時間降水量」の記録を更新した。また、24日に宗像234.5mm、頂吉266.5mm、篠栗251.0mm、飯塚289.5mm、博多239.5mm、25日に耳納山203.5mm、26日に九千部山309.5mmの日降水量を観測し「日降水量」の極値を更新した。博多では月降水量747.5mmを観測し、7月の「月降水量の多い方から」の記録を更新した。福岡では月間日照時間87.1hを観測し、7月の「月間日照時間の少ない方から」の記録を更新した。

気温は期間のはじめは平年を上回ったが、その後は平年を下回り、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。県内各地の旬平均気温は24.5～26.1℃（平年差-2.5～-1.6℃）で低くなり、旬降水量は330.5～642.0mm（平年比476～926%）でかなり多くなり、旬日照時間も平年比16～50%でかなり少なくなった。



## (8) 8月の気象概況

**8月上旬：南からの暖かく湿った空気の影響で曇りの日が多く雨の降った日があった**  
九州北部地方は4日頃梅雨明け  
7日に久留米、大牟田で「日最高気温の高い方から」の記録を更新

南からの暖かく湿った空気の影響で曇りの日が多く雨の降った日があった。3日は南からの暖かく湿った空気の影響で県内各地で0.0～26.5mmの降水量となった。6日は台風第8号からの暖かく湿った空気の影響で県内各地で0.0～10.0mmの降水量となった。10日は南からの暖かく湿った空気の影響で県の南部を中心に1時間降水量で11.0～18.0mmの雨となった。福岡管区気象台は「九州北部地方（山口県を含む）は4日頃梅雨明けしたと見られる」と発表した（平年は7月18日頃、去年は7月6日頃）。また、7日に久留米では37.3℃、大牟田では37.2℃の日最高気温を観測し「日最高気温の高い方から」の記録を更新した。

気温は前半は平年を下回った日が多くなったが、後半は平年を上回った日が多くなり、旬では県内アメダス地点で平年を上回った地点と下回った地点が半々となった。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で概ね平年を下回った。県内各地の旬平均気温は25.9～28.5℃（平年差-1.0～+1.0℃）で概ね平年並となり、旬降水量は1.0～38.0mm（平年比2～69%）で平年並か少なくなったり、旬日照時間も平年比53～103%で平年並か少なくなった。

**8月中旬：前半は曇りや雨の日が多く後半は晴れの日が多い**  
15日に朝倉で、8月の「日最大1時間降水量」の記録を更新

前半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く後半は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。12日から13日にかけて低気圧や前線の影響で県内各地で3.5～58.5mmの降水量となった。14日から15日にかけて低気圧の影響で県内各地で38.0～113.5mmの降水量となった。15日に朝倉では74.5mmの1時間降水量を観測し、8月の「日最大1時間降水量」の記録を更新した。

気温は前半は平年を下回った日もあったが、その他の日は平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量、日照時間ともに県内各地で概ね平年を上回った。県内各地の旬平均気温は26.7～28.5℃（平年差+0.4～+1.4℃）で概ね高くなり、旬降水量は53.5～156.5mm（平年比84～220%）で概ね多くなり、旬日照時間も平年比91～115%で概ね平年並となった。

**8月下旬：はじめと終わりは曇りや雨の日が多く中頃は晴れの日が多い**  
26日に八幡、行橋、飯塚、博多、太宰府、添田、朝倉、久留米、黒木、大牟田で、8月の「日最低気温の低い方から」の記録を更新

はじめと終わりは気圧の谷や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日が多く中頃は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。22日は日本海の低気圧からのびる寒冷前線の影響で県内各地で0.0～24.0mmの降水量となった。28日も日本海の低気圧からのびる寒冷前線の影響で県内各地で0.0～10.0mmの降水量となった。また、26日は上空の寒気と放射冷却の影響により、八幡で17.7℃、行橋で16.7℃、飯塚で16.0℃、博多で17.9℃、太宰府で16.9℃、添田で14.6℃、朝倉で15.1℃、久留米で18.0℃、黒木で14.0℃、大牟田で16.1℃の日最低気温を観測し、8月の「日最低気温の低い方から」の記録を更新した。

気温ははじめと終わりは平年を上回った日が多かったが中頃は平年を下回り、旬では県内各地で概ね平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。県内各地の旬平均気温は24.8～27.2℃（平年差-1.1～+0.4℃）で平年並の所が多くなった。旬降水量は0.0～30.0mm（平年比0～31%）で少なくなり、旬日照時間は平年比110～138%で概ね多くなった。

## (9) 9月の気象概況

### 9月上旬：曇りの日もあったが高気圧に覆われて晴れの日が多い 少雨 多照

気圧の谷や湿った空気の影響で曇った日もあったが高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。3日は日本海の高気圧に覆われるが気圧の谷や日射の影響を受けて局地的に雨となり、久留米では15.0mm、耳納山では3.5mmの降水量となった。また、8月以降、降水量の少ない状態が続いているため、8日に「少雨に関する福岡県気象情報 第1号」を発表した。

気温ははじめと終わりに平年を下回った日もあったが、その他の日は平年を上回り、旬では県内各地で概ね平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。県内各地の旬平均気温は23.9～26.5℃（平年差-0.4～+1.2℃）で概ね平年並となった。旬降水量は0.0～15.0mm（平年比0～19%）でかなり少なくなり、旬日照時間は平年比124～173%でかなり多くなった。

### 9月中旬：前半は曇りや雨の日もあったが高気圧に覆われて晴れの日が多い

前半は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日もあったが高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。12日は南下する前線の影響で17.5～50.0mmの降水量となった。また、8月以降、降水量の少ない状態が続いているため、18日に「少雨に関する福岡県気象情報 第2号」を発表した。

気温は期間を通して概ね平年を下回り、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。県内各地の旬平均気温は20.7～23.4℃（平年差-1.5～-0.3℃）で平年並か低くなった。旬降水量は17.5～50.5mm（平年比36～78%）で平年並の所が多くなり、旬日照時間は平年比122～150%で多くなった。

### 9月下旬：はじめと終わりは曇りや雨の日が多く、中頃は晴れの日が多い

行橋、博多、太宰府、耳納山、黒木で、9月の「月降水量の少ない方から」の記録を更新  
宗像では、9月の「月間日照時間の多い方から」の記録を更新

はじめと終わりは気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多く、中頃は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。21～23日にかけて対馬海峡から九州北部付近の前線の影響で0.0～24.5mmの降水量となった。28～30日にかけて九州北部付近の前線の影響で7.0～23.5mmの降水量となった。また、行橋では45.5mm、博多では61.5mm、太宰府では49.5mm、耳納山では51.5mm、黒木では32.5mmの月降水量を観測し、9月の「月降水量の少ない方から」の記録を更新した。宗像では201.4hの月間日照時間を観測し、9月の「月間日照時間の多い方から」の記録を更新した。

気温は期間を通して概ね平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量、日照時間ともに県内各地で平年を下回った。県内各地の旬平均気温は22.0～24.3℃（平年差+1.6～+2.7℃）で高くなった。旬降水量は9.0～48.0mm（平年比17～77%）で少ない所が多くなり、旬日照時間も平年比78～94%で少ない所が多くなった。

## (10) 10月の気象概況

10月上旬：期間の前半は晴れの日もあったが、曇りや雨の日が多い 多雨 寡照

2日に篠栗、福岡、博多、太宰府、九千部山、朝倉、久留米、耳納山で、10月の「日降水量」の極値を更新

期間の前半は高気圧に覆われて晴れの日もあったが、気圧の谷や前線及び台風第18号の影響で曇りや雨の日が多くなった。1～2日にかけて九州付近の低気圧や前線の影響で63.5mm～172.0mmの降水量となった。8日は台風第18号の影響で0.0mm～19.5mmの降水量となった。また、2日は、篠栗で110.0mm、福岡で96.5mm、博多で91.5mm、太宰府で137.5mm、九千部山で171.5mm、朝倉で118.0mm、久留米で139.5mm、耳納山で106.0mmの日降水量となり、10月の「日降水量」の極値を更新した。

気温は期間の中頃と終わりに平年を下回った日もあったが、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。県内各地の旬平均気温は18.8～21.3℃(平年差+0.3～+1.5℃)で概ね高くなった。旬降水量は67.0～179.5mm(平年比203～462%)でかなり多くなり、旬日照時間も平年比53～64%で少なくなった。

10月中旬：期間の後半は雨の降った日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多い

期間の後半は日本海の低気圧の影響で雨の降った日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

気温は期間の後半は平年を上回った日が多かったが、旬では県内各地で概ね平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。県内各地の旬平均気温は16.1～19.3℃(平年差-1.3～+0.4℃)で概ね平年並となった。旬降水量は0.0～13.0mm(平年比0～42%)で概ね少なくなり、旬日照時間も平年比116～142%で多くなった。

10月下旬：晴れの日が多くなったが中頃は台風第20号の影響で曇りや雨の日もあった 高温

高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、中頃は台風第20号の周辺から流入する暖湿流の影響で曇りや雨の日もあった。25～26日にかけて台風第20号の周辺から流入する暖湿流の影響で3.0～13.5mmの降水量があった。

気温ははじめに平年を下回った日もあったが、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。県内各地の旬平均気温は15.8～18.6℃(平年差+1.1～+2.3℃)で高くなった。旬降水量は3.0～13.5mm(平年比22～91%)で平年並の所が多くなり、旬日照時間は平年比105～119%で概ね多くなった。

## (11) 11月の気象概況

11月上旬：はじめと終わりは曇りや雨の日が多く中頃は晴れの日が多くなった

7日に八幡、福岡、太宰府、大牟田で、8日に添田で「日最高気温の高い方から」の極値を更新

10日に八幡、太宰府、九千部山で「日降水量」の極値を更新

はじめと終わりは寒気や前線の影響で曇りや雨の日が多く中頃は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。1日は北海道付近の低気圧からのびる寒冷前線の影響で9.5～35.0mmの降水量となった。10日は東シナ海の低気圧からのびる温暖前線の影響で17.0～80.5mmの降水量となった。7日に八幡で26.2℃、福岡で26.4℃、太宰府で25.9℃、大牟田で25.4℃、8日に添田で25.9℃の最高気温を観測し「日最高気温の高い方から」の極値を更新した。10日に八幡で68.0mm、太宰府で68.0mm、九千部山で80.5mmの日降水量を観測し「日降水量」の極値を更新した。

気温は前半は平年を下回った日が多く後半は平年を上回った日が多くなり、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で概ね平年を下回った。県内各地の旬平均気温は14.4～17.1℃(平年差+0.9～+2.1℃)で概ね高くなった。旬降水量は34.0～108.5mm(平年比126～358%)で概ね多くなり、旬日照時間は平年比83～103%で概ね平年並となった。

11月中旬：晴れの日もあったが低気圧や前線及び寒気の影響で曇りや雨の日が多い 多雨 寡照

高気圧に覆われて晴れの日もあったが低気圧や前線及び寒気の影響で曇りや雨の日が多くなった。11日は九州南岸を通過した低気圧の影響で0.0～48.0mmの降水量となった。13～14日は九州の南海上を通過した低気圧や前線の影響で22.0～67.5mmの降水量となった。16～17日は東シナ海から九州の南海上を通過した低気圧や前線の影響で16.5～30.0mmの降水量となった。

気温は前半は平年を上回った日が多く後半は平年を下回った日が多くなり、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。県内各地の旬平均気温は10.4～12.6℃(平年差-1.2～-0.2℃)で概ね平年並となった。旬降水量は46.0～126.5mm(平年比263～509%)でかなり多くなり、旬日照時間は平年比41～64%で少なくなった。

11月下旬：天気は周期的に変化

八幡、飯塚、前原、福岡、太宰府で11月の「月降水量の多い方から」の記録を更新

天気は周期的に変化した。22日は気圧の谷の影響で0.5～7.0mmの降水量となった。24日は九州の南海上を通過した前線の影響で0.0～7.0mmの降水量となった。30日は気圧の谷の影響で0.0～5.5mmの降水量となった。また、八幡で187.5mm、飯塚で197.0mm、前原で235.5mm、福岡で181.5mm、太宰府で166.5mmの月降水量を観測し、11月の「月降水量の多い方から」の記録を更新した。

気温は前半は平年を下回ったが、後半は平年を上回り、旬では県内アメダス地点で平年を上回った地点と下回った地点が半々となった。降水量、日照時間ともに県内各地で平年を下回った。県内各地の旬平均気温は9.4～11.7℃(平年差-0.6～+0.6℃)で概ね平年並となった。旬降水量は1.0～17.0mm(平年比3～42%)で概ね少なくなり、旬日照時間は平年比81～98%で概ね平年並となった。

## (12) 12月の気象概況

### 12月上旬：天気は周期的に変化

天気は周期的に変化した。10日は東シナ海の低気圧や前線の影響で16.5～42.5mmの降水量となった。

気温は後半に平年を下回る日もあったが、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で概ね平年を下回った。県内各地の旬平均気温は8.4～10.9℃(平年差+0.3～+1.8℃)で概ね高くなった。旬降水量は19.5～46.0mm(平年比61～283%)で概ね多くなり、旬日照時間は平年比88～110%で概ね平年並となった。

### 12月中旬：前半は曇りや雨の日が多く、後半は寒気の影響でみぞれや雪の降った日があった 16日に背振山で初冠雪、17日に福岡で初雪、19日に福岡で初氷を観測

前半は気圧の谷や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日が多く、後半は冬型の気圧配置による寒気の影響で曇りの日が多くみぞれや雪の降った日があった。また、17～20日は冬型の気圧配置による寒気の影響で0.0～36.5mmの降水量となった。16日に背振山で初冠雪(平年より12日遅く、昨年より27日遅い)、17日に福岡で初雪(平年より4日遅く、昨年より28日遅い)、19日に福岡で初氷(平年より4日遅く、昨年より12日遅い)を観測した。

気温は後半に平年を下回ったが、旬では県内各地で平年を上回ったところが多くなった。降水量は県内各地で概ね平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は5.5～8.6℃(平年差-0.9～+0.5℃)で概ね平年並となった。旬降水量は3.5～45.5mm(平年比32～150%)で平年並のところが多くなり、旬日照時間は平年比42～71%で少なくなった。

### 12月下旬：中頃までは晴れの日が多く、終わりは曇りや雨の日が多く雪の降った日があった

中頃までは低気圧や寒冷前線の影響で雨の降った日もあったが高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。終わりは寒冷前線や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなり雪の降った日があった。27～28日は寒気の影響で0.5～7.5mmの降水量となった。30日は低気圧からのびる寒冷前線の影響で0.0～4.5mmの降水量となった。31日は冬型の気圧配置による寒気の影響で0.0～13.0mmの降水量となった。

気温は前半は概ね平年を上回ったが後半は概ね平年を下回り、旬では県内各地で平年を下回った。降水量、日照時間ともに県内各地で概ね平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は4.4～7.2℃(平年差-0.9～-0.1℃)で概ね低くなった。旬降水量は2.0～22.5mm(平年比36～119%)、旬日照時間は平年比75～100%でともに平年並となった。

### (13) 月別値の階級区分

#### 福岡の月別値の階級区分

年 月	月平均気温	月降水量	月間日照時間
平成 21 年 1 月	平年並	平年並	少ない
平成 21 年 2 月	かなり高い	多い	平年並
平成 21 年 3 月	かなり高い	かなり少ない	多い
平成 21 年 4 月	高い	少ない	かなり多い
平成 21 年 5 月	高い	かなり少ない	平年並
平成 21 年 6 月	高い	平年並	多い
平成 21 年 7 月	平年並	かなり多い	かなり少ない
平成 21 年 8 月	平年並	少ない	少ない
平成 21 年 9 月	平年並	少ない	かなり多い
平成 21 年 10 月	高い	多い	平年並
平成 21 年 11 月	平年並	かなり多い	少ない
平成 21 年 12 月	平年並	平年並	少ない

#### 階級区分について

平成 13 年 1 月から使用を開始した 1971～2000 年統計値からは、「高い (多い)」、「平年並」、「低い (少ない)」の 3 階級を用い、平年から極端に異なった状況を表現する場合には、「かなり高い (多い)」、「かなり低い (少ない)」を補足的に用いることになりました。3 階級の出現率は「33.3%、33.3%、33.3%」(1 : 1 : 1) の等確率で、「かなり高い (多い)」、「かなり低い (少ない)」の出現率は 10% です。